

①聴覚障害教育センターだより

平成30年10月

富山県立高岡聴覚総合支援学校

本校は、聴覚障害児教育の専門機関として「聴覚障害教育センター」を併設し、「きこえ」や「ことば」に関する相談に応じています。医療、福祉機関、各種教育機関、補聴器専門店などとの連携を密にし、活動を進めています。



<「きこえ」と「ことば」の研修会>



保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に在籍する聴覚障害児を担当している教員、及び関係機関担当者に対して、聴覚障害及び聴覚障害教育についての情報を提供します。

第1回：6月 7日（木） 「聴覚を活用するために」

- 参加者：小学校教員2名、その他の教育機関5名、福祉機関1名
- 内 容：授業参観、講義（耳と聞こえの仕組み、オーディオグラムの見方など）
演習（「きこえ」測定、補聴器装用体験、ロジャーの使い方など）

○寄せられた感想

- ・初めて聴覚支援学校を見学させていただき、学習の様子や支援ツールを間近で見ることができて、貴重な経験をすることができました。
- ・「きこえ」について、実際に検査や補聴器で音を聞く体験をしながら、子供たちの感じ方を知ることができました。保育の中に少しでも活かしていけたらと思います。
- ・「きこえ」の体験もさせていただき、雑音の中から聞き分けることの大変さを実感できました。
- ・聞こえにくさを自分で体感することによって、聞こえにくさに対する配慮についても考えることができました。



第2回：8月24日（金） 「発音・発語指導について」

- 参加者：小中学校教員3名、その他の教育機関4名
- 内 容：講義（発音・発語指導の目的、指導の系統など）
演習（舌・声・息、母音、半母音、子音の誘導など）

○寄せられた感想

- ・指導法を具体的に教えていただき、体を使って学ぶことができてよかったです。
- ・演習で実際に舌の運動をしたり、発音のときの舌の位置、息、声の出し方をしてみてもとてもよく分かりました。
- ・普段なにげなく言葉を話していましたが、いろいろな部位が密接に関連しあっていることを感じました。いろいろな手立てを取ることで正しく発音できるのだなぁと初めて知りました。
- ・毎日のトレーニングについて詳しく具体的に教えていただきました。2学期からの指導に生かせるものが多くありました。



小・中・高校での聴覚障害児支援のポイント！

授業での配慮

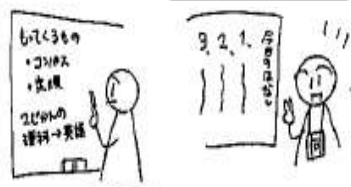
必要な情報が正しく伝わるような配慮が必要です。

顔（特に口元）がよく見えるようにします。



手掛かりがあると、よくわかるよ。

集会的时候は、話のポイントの提示があるといいな。



書きながら聞くのは、難しいよ。



ノートを書いているときに話をしても、気が付かないよ。合図があるといいな。

班の話し合いのときは、一人ずつ話をしてね。

誰が何を話しているのが分からないよ。

口元を見るのが間に合わないな。



<お知らせ>



「学習発表会」聴力測定コーナー

10月20日(土) 学習発表会 聴力測定コーナー

13:00~14:00

☆学習発表会にお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。
どなたでも聴力測定できます。



耳の相談日



11月28日(水)

13:30~14:30

☆耳や聞こえのことについて本校の耳鼻科の校医に相談することができます。どなたでも参加できます。事前に連絡していただき、ご来校ください。



【問い合わせ先】

富山県立高岡聴覚総合支援学校

教育相談室（聴覚障害教育センター） 岩本

〒 933-0824 高岡市西藤平蔵700番地

Tel 0766-63-6385 FAX 0766-63-5884 E-mail takarou-soudan@tym.ed.jp